

03.

関東甲信越

関東甲信越地方会

谷口 信行

(自治医科大学臨床検査医学)

関東甲信越地方会は、関東の1都6県に加え、山梨県、長野県、新潟県がその範囲に含まれ、日本超音波医学会の中でもっと大きな地方会です。初代運営委員長は、竹内久彌先生（平成3年から平成6年）、第2代運営委員長伊東紘一先生（平成7年から平成12年）、第3代運営委員長羽田勝征先生（平成13年から平成14年）・第4代運営委員長林輝美先生（平成15年から平成16年）、第5代運営委員長竹内和男先生（平成17年から平成20年）、第6代運営委員長秋山いわき先生（平成21年から平成24年）が務められています。地方会学術集会は毎年1回秋に開かれますが、年々参加者が増加し、最近では毎回1,000名を超え、100以上の発表演題で開催されるのが一般的となっています。

表に、これまでの大会長をあげさせていただきます。第1回は、運営委員長でもあった順天堂大学の竹内久彌先生の下で開催され、210名の参加者、70演題で行われました。その後、会を重ねるとともに参加者が増加し、第13回からは参加者が1000名を超える大きな会となっています。

地方会の多くが、研究活動だけでなく、超音波検査教育や普及も重要な目的としているように、本地方会でも講習会の併設など、参加者に喜ばれるような会を目指して、毎回発表会長の先生が工夫をされておられます。また、これから超音波の分野で活躍していただける方に、発表していただけるような場も提供できるような環境となればと思っています。関東甲信越地方会の特長は、会員が多いだけでなく、工学系の先生が多いこと、メーカーの本社があるため、基礎的内容での議論が行うことの土壌ができています。最近ではその交通の便の良さから基礎研究会が並行して行われることが多く、超音波の基礎を勉強したい会員にも、その場を提供しています。

最近の悩みは、通常2日間の日程で行われていますが、参加者が多いため会場が手狭になることでしょうか。

今後も、研究、教育、社会への貢献を視野に入れ、参加しやすい地方会の環境を整えたいと思っています。

関東甲信越地方会学術集会開催一覧

回数	開催日	大会長氏名	開催地	参加者数	演題数
1	1992/2/1	竹内 久彌	東 京	210	70
2	1992/7/25	大槻 茂雄	東 京	209	41
3	1992/10/3	田村 康二	山 梨	111	26
4	1993/6/19	杉下 靖郎	東 京	197	32
5	1994/9/16	安田 是和	東 京	235	29
6	1995/2/25	吉田 英機	東 京	577	101
7	1996/1/20	植野 映	筑 波	198	34
8	1997/1/25	山中 桓夫	大 宮	470	66
9	1998/1/31	澤村 良勝	東 京	449	48
10	1998/10/17-18	里見 元義	松 本	374	74
11	1999/10/10-11	万代 恭嗣	東 京	950	86
12	2000/10/14-15	林 輝美	東 京	896	82
13	2001/10/12-13	税所 宏光	東 京	1120	112
14	2002/10/14-15	平井 寛則	東 京	1250	104
15	2003/10/4-5	名取 道也	東 京	1160	86
16	2004/11/6-7	竹内 和男	東 京	1241	117
17	2005/10/22-23	石光 敏行	神奈川	910	47
18	2006/10/28-29	貴田岡正史	東 京	1523	91
19	2007/11/10-11	高田 悦雄	東 京	1606	107
20	2008/10/25-26	蜂屋 弘之	東 京	1683	103
21	2009/10/7-8	森 秀明	東 京	1717	134
22	2010/10/30-31	住野 泰清	東 京	1534	141
23	2011/10/29-30	鈴木 真事	東 京	1184	105
24	2012/10/20-21	馬場 一憲	さいたま	1378	150